

おくの義務教育学区タウンミーティング意見・回答一覧

ID	行政区名	意見の概要	意見に対する回答	地図等の有無	担当部	担当課
R4-おくの義務教育-1	桂	<p>【牛久市の5か年計画のポイントと課題】 ①住みやすいまちづくりのポイント(目玉政策等) ②財政面からの政策と課題(収支見通し)</p>	<p>①【政策企画課】 市では、最上位計画である牛久市第4次総合計画を一昨年に策定し、街の将来像「笑顔あふれる にぎわいとやすらぎのあるまちうしく」を掲げ、令和3年度から6年度までの4年間で第1期基本計画の期間として、7つの政策分野のもと、各取り組みを展開しています。 当市はベッドタウンとして形成された経緯からも、牛久市が選ばれるための要件として、住みやすさは非常に重要な要素ととらえており、子育て世代の転入促進が目指すべき一つの目標となります。 一昨年からの感染症拡大における人の流れの変化により、地方への人の流れが生じており、当市においては、総人口は減少する中、転入者数が転出者数を上回る転入超過の状況にあります。 このような変化をとらえ、さらに選んでもらえる市となるよう、これまで取り組んできた妊娠期から始まる子育て施策、教育施設をはじめとする公共施設の計画的な維持管理、生活の基盤となる道路、下水道などの計画的整備などを進め、これまで中止が相次いだ各種イベント等の再開により、魅力向上を目指す取り組みを進めます。</p> <p>②【財政課】 令和4年度予算においては、社会保障関係経費の扶助費や公債費が引き続き増加する中で、令和3年度から進めている中央生涯学習センター屋上防水改修工事等の公共施設の更新工事や、人口減少時代に打ち勝つための施策として、ひたち野地区における市街化区域への編入、宅地開発に向けた調査等にも引き続き取り組みながら、子ども家庭総合支援拠点の開設や子宮頸がんワクチンの接種再開、新生児の聴覚検査助成および3歳児健診時における屈折・眼位検査の実施による子育て・健康・医療に関する施策等にも取り組んでいます。 今後、おくの義務教育学校の建設や各公共施設の更新工事が見込まれている中で、委託費や電気料等の経常的経費や、社会保障関係経費の扶助費、人件費および市の借入返済となる公債費といった義務的経費について、如何にして削減していくか、また、その一方で、新型コロナウイルス感染症の感染状況の収束が未だ見通せない状況において、市税をはじめとした自主財源を確保しながら、市債残高を増加させずに事業を進めることができるかが課題となっています。</p>	なし	経営企画部	政策企画課 財政課

おくの義務教育学区タウンミーティング意見・回答一覧

ID	行政区名	意見の概要	意見に対する回答	地図等の有無	担当部	担当課
R4-おくの義務教育-2	桂	<p>【牛久市観光資源の有効活用状況と今後の展望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①牛久シャトーの投資採算計画の実績と課題 ②牛久沼周辺の観光資源の活用計画・ビジョン ③牛久大仏を含む観光資源のネットワーク化 ④牛久周辺観光資源のアンテナショップの設置検討(PR活動) ⑤周辺市町村の観光資源との連携による観光の相乗効果 ⑥地元特産物の販売拠点の設置(道の駅等) ⑦観光による地元活性化の専門家の活用(コンサルタント) 	<p>【創生プロジェクト推進課】 牛久シャトーを運営する牛久シャトー株式会社では、コロナ禍での営業再開以降、想定以上の苦戦を強いられ、赤字の状況が続いております。 このことから、同社では令和3年度に今後の不安定な情勢を考慮した経営計画の見直しを行いました。中期的な見通しとして、「新型コロナウイルス感染症は第6波を乗り越え、一旦収束の様相を見せているが、感染拡大への懸念から直ちに好転することは見込めず、当面、赤字の経営が続く」との見解が示されております。前述のとおり、令和3年度の経営実績は大変厳しい状況となりました。 一方で、コロナ禍は段階的に収束に向かうと見込んでおり、令和3年に酒類製造免許を取得後、同年10月には第一号ビール、令和4年5月には第一号ワインの自社による製造・販売を開始し、多様な自社商品を揃えるなど、営業力を強化することで、「コロナ禍が完全に収束した場合、同社は黒字転換する」との報告も受けております。実際に、緊急事態宣言が明けた令和3年10月には、一部収益に改善の兆しが見られました。年間を通した店舗の売上高をみましても、ビール・発泡酒の販売開始、通販サイトの活用等により成長が続いている状況です。 同社の課題といたしましては、飲食業、観光業の好転と共に黒字経営となるよう、増益に向けた検討と準備をしていくことです。併せて、我慢の時期となる今は、できる限り赤字増大を防ぎ、収益を上げる取り組みを継続することが重要となります。 本市といたしましても、より一層経営状況の適切な把握に努め協力をしていくとともに、あらゆる可能性を模索し、牛久シャトーの将来について検討を進めて参ります。</p> <p>【商工観光課】 当市には牛久シャトーと牛久大仏という二大観光スポットがあります。特に牛久大仏は、海外からの観光客にとって県内第一位の人気スポットです。新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりインバウンド客は激減しましたが、やっと海外からのツアーの受け入れも再開されたので、今後の集客が期待されるところであります。 折しも、来年のJR東日本のデスティネーションキャンペーンの対象に茨城県が選ばれました。実に21年ぶりのことです。目下、県の観光物産課を中心に、今年10月に開催予定のイベントで旅行会社各社にPRするため、市町村単位で観光資源の洗い出しを始めております。当市としても、二大観光スポットのほか、牛久沼及びその周辺の文化財や新たにオープンしたキャンプ場を含めて、考えうる限りの観光スポットを県に報告しているところです。このデスティネーションキャンペーンを通じて、旅行会社の企画するツアーはおのずと複数の市町村にまたがったものになると思われ、全国から来県されるお客様で県内がにぎわうこととなります。当市も多くのお客様をお迎えするとともに、市民としてもあらためて市内の観光スポットの魅力を再発見するきっかけとしたいと考えております。</p>	なし	経営企画部 環境経済部	創生プロジェクト推進課 商工観光課

おくの義務教育学区タウンミーティング意見・回答一覧

ID	行政区名	意見の概要	意見に対する回答	地図等の有無	担当部	担当課
R4-おくの義務教育-3	桂	【「牛タク」の利用状況と今後の課題】	令和3年度のうしタク運行便数は6,990便で、その内407便が奥野地区にお住まいの方の利用です。実人数では総数735人の内46人が奥野地区の方となり、全体に占める割合は6.3%となっております。令和3年度末の牛久市全人口に対する奥野地区の占める割合は5%であるので、奥野地区の方にも一定程度利用されている状況です。 運行上の課題としては、運行開始時刻の前倒しや東京医大茨城医療センターへの市外運行等がありますが、運行開始時刻を現在の9時から8時30分とする改善について、本年度実施を検討中です。	なし	経営企画部	政策企画課
R4-おくの義務教育-4	正直	【防犯カメラの設置要望について】 県道、市道の要所への設置は犯罪抑制につながると考えるが、今後の計画についてお伺いしたい。	防犯カメラは警察との協定で、年次計画の中で整備を進めています。犯罪の発生状況により計画の見直しはありますが、今のところ正直地区には予定はありません。	なし	市民部	地域安全課
R4-おくの義務教育-5	正直	【第一避難所への避難の流れについて】 島田、中央、正直は奥野生涯学習センターが第一避難所になっているが、避難所の開設の判断は行政区であるのか。行政区で判断した場合、施設側との連携の仕方はどのように想定しているのか。 また、市民に対して第一避難所を開設した際の周知はどうするのか。	第一避難場所の開設判断の有無は避難場所が行政区会館等である事もあり、基本的には各行政区長が判断するものですが、奥野生涯学習センターについては、市の施設であることから、市で避難所開設の有無を判断し、施設側へ連絡を致します。避難所の運営については、近隣学校担当の避難所従事職員等にて対応を予定しております。 また、状況によって行政区長より第一避難場所の開設要望がある際は防災課までご連絡を頂ければ、速やかに開設出来るよう対応して参ります。 市民に対しての周知についてですが、土砂災害警戒区域に居住する市民に対しては、タッチライブス(登録式の電話配信サービス)を通じて、日中夜間を問わず、避難情報を伝え、逃げ遅れがゼロになるよう対応しております。 また、タッチライブス以外にも防災無線、広報車、SNS等の様々な手段を用いてお伝えすることを計画しております。	なし	市民部	防災課

おくの義務教育学校区タウンミーティング意見・回答一覧

ID	行政区名	意見の概要	意見に対する回答	地図等の有無	担当部	担当課
R4-おくの義務教育-6	久野	<p>【おくの義務教育学校北校舎の利用提案】 将来的におくの義務教育学校の校舎が南校舎に一本化される計画に伴い、下記のような利用方法について提案します。 ・道の駅、JA、他の食料品等の販売（高齢者の方も、自転車・散歩がてら買い物にこれる場所） ・子ども達の塾等、近くで勉強できる環境（親の負担軽減） ・各種教室 ・各種展示会会場 ・簡単映画会場 ・社協事務所 ・たまり場活動 ・区の集会所として 緊急時の避難所として</p>	<p>おくの義務教育学校一体型校舎の改修が完了する令和7年度に向け、その後の利活用を検討していくこととしています。 検討にあたっては、既存で利用されている保育園や学校開放事業などの取り扱いを整理するほか、民間活用や公的利用など様々な可能性を含め、各種事例を調査し、市民の皆様のご意見を踏まえて進めていく予定であり、今回のご提案につきましても、ご意見の一つとして取り扱わせていただきます。</p>	なし	経営企画部	政策企画課
R4-おくの義務教育-7	大和田	<p>【過年度に回答済みの意見は対象としないということについて】 タウンミーティングは行政区の意見を聞くための会議であり、問題が解決していないのであれば、何度も陳情することは当たり前のことであり、門前払いすることが妥当なのか。 これは事務方の判断なのか、市長の判断なのかを確認したい。</p>	<p>タウンミーティングについては、市からの情報提供や、小学校区における共通した課題等の意見交換、そして他の行政区との情報交換の場として、大きな役割を果たしているものと考えております。 また、区長の皆様は区民から多くのご意見やご要望が寄せられていることを承知しておりますが、事前にご提出いただいておりますすべてのご意見・ご要望を当日のタウンミーティングで議題とすることは時間的に難しい状況です。そのため、信号機の設置といった市が実施主体ではないご要望や、行政区内における道路改修といった行政区個別のご要望などは、担当課による個別対応とさせていただきます。 しかしながら、まちづくりを推進する上で、現状の運営方法のさらなる充実を図っていく事は重要となりますので、ご指摘の点も踏まえながら、その在り方について、今後ともしっかりと検討してまいります。 なお、市長はじめ市執行部が皆様の行政区の区民会館等へ出向き、行政区の身近な問題を話し合う『行政区役員の皆様との意見交換会』という制度もありますので、引き続きこちらのお申込みをご検討いただければと存じます。</p>	なし	市長公室	秘書課
R4-おくの義務教育-8	大和田	<p>【Wi-Fi設備設置について】 各行政区の集会所は防災時の第1次避難所なので、Wi-Fi設備と月々の料金を市で100%負担して設置してもらいたい。 全行政区で、Wi-Fi設備が設置されている第1次避難所は何か所あるのか。</p>	<p>第一次避難場所については、安否確認をすることが主の場所であり、長期的な避難生活をおくる方は非常に少数となる、若しくはないことも想定されますので、第一次避難場所へWi-Fi設備を設置する計画はありません。</p>	なし	市民部	防災課

おくの義務教育学区タウンミーティング意見・回答一覧

ID	行政区名	意見の概要	意見に対する回答	地図等の有無	担当部	担当課
R4-おくの義務教育-9	大和田	<p>【防災無線(定時放送)の音量について】 正午の時報チャイム、夕方5時の音楽の音量を下げてもらいたい。 牛久市全体で防災無線の音量について苦情があると聞いているが、個別の行政区で音量を調整できないものか。</p>	<p>防災無線では平常時には正午のチャイムや夕方の「夕焼け小焼け」などを放送し、そのほかには地震や風水害に関する情報や避難情報、行方不明者に関する情報などを放送しております。放送につきましては、音がうるさい、または音が小さくて聞こえない、などのご意見をいただいております。</p> <p>防災無線は遠くまで音声を届けるため屋外子局スピーカーの近くではどうしても音量は大きくなってしまいます。しかしながら災害時の避難情報など、命を守るための重要な情報を放送するものであります。また、1カ所の屋外子局スピーカーのみ音量調整をすることはできないため、音量を下げるのは難しい状況です。ご理解をいただければと思います。</p> <p>現在、防災無線の更新工事を5ヵ年かけて実施しており、市内すべての屋外子局スピーカーを新しくしますので聞き取りやすくなります。また、防災無線が流れると即時に放送内容がスマートフォンに通知される、防災アプリの導入を予定しており、確実に情報を伝えるため、ホームページやSNS、FMうしくれしく放送など様々な手段をもちいて情報発信しております。防災無線は情報を多くの方に伝える重要な手段の一つとなっておりますのでご理解をいただきたいと思います。</p>	なし	市民部	防災課